認定コミュニティ活動状況資料

浜須賀地区まちのちから協議会

（１）認定基準への適合に関する資料

認定基準確認表　１

委員名簿　２

（２）認定コミュニティの活動及び特定事業に関する資料

前年度の活動報告書及び収支決算書　３～８

当該年度の活動計画書及び収支予算　９～１１

特定事業の概要　１２

特定事業実施報告書　１３～１７

（地域乳幼児サポート事業）

特定事業実施報告書　１８～２５

（広報「浜須賀まちのちから」発行事業）

認定審査基準確認表

浜須賀地区まちのちから協議会

審　査　基　準		基準への適合状況（申請時）	基準への適合状況（Ｈ２９年度）
(1)	申請書に、主として活動する区域が記載されているか。	申請書に活動区域の記載あり。	
	申請団体の規約に、主として活動する区域が規定されているか。	規約第１条に市長が告示する浜須賀地区を協議会の活動区域とする旨規定あり。	・申請時と同様で変更無し。
	規約に規定された主として活動する区域が、市長の告示する区域と合致しているか。	市長が告示する区域である、審議会ファイル「別図１０」と規約第１条における協議会の活動区域が合致。	・申請時と同様で変更無し。
(2)	申請団体の規約に、申請団体の構成員として、当該活動区域に有する、市長に届け出た全ての自治会（以下「全ての自治会」という。）が規定されているか。	規約第５条（１）に「浜須賀地区に属する各単位自治会の代表」が委員である旨記載あり。	・申請時と同様で変更無し。
	申請団体が作成した構成員の一覧を記載した書類により、全ての自治会が構成員であることが明確であるか。	市長に届け出た自治会は「地区別単位自治会の名称」のとおり１２自治会あり、名簿に、「地区別単位自治会の名称」に記載されている全ての自治会名が記載されている。	・別紙名簿のとおりいくつかの自治会で会長の変更はあるものの、申請時と同様に全ての自治会が構成員となっている。
(3)	申請団体の規約に、申請団体の構成員として、茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例施行規則第３条第１項各号に規定された団体が規定されているか。	規約第５条（２）（３）（４)に規定あり。 ◆地域福祉の推進を主たる目的とするコミュニティ （２）に、地域福祉全般に関する地域団体の代表として規定されており、①浜須賀地区社会福祉協議会、②浜須賀地区民生委員児童委員協議会が参加している。 ◆文化、芸術又はスポーツの振興を主たる目的とするコミュニティ （３）にスポーツ・健康に関する地域団体の代表として規定されており、浜須賀地区体育振興会が参加している。 ◆児童又は青少年の健全な育成を主たる目的とするコミュニティ （４）に、青少年育成に関する地域団体の代表として規定されており、①浜須賀小学校区青少年育成推進協議会、②緑が浜小学校区青少年育成推進協議会、③浜須賀小学校ＰＴＡ、④浜須賀中学校保護者会のほか、準委員として浜須賀小学校、緑が浜小学校、浜須賀中学校の３校が参加している。	・申請時と同様で変更無し。
	申請団体が作成した構成員の一覧を記載した書類により、前項の団体が構成員であることが明確であるか。	名簿に、「規約第６条（２）（３）（４)」に該当する団体名が記載されている。	・申請時と同様で変更無し。
(4)	申請団体の規約に、公募により選出される構成員について規定されているか。	規約第５条（１１）に規定あり。	・申請時と同様で変更無し。
(5)	申請団体の規約に、申請団体の活動又は事業に活動区域の誰もが参加できることが規定されているか。	規約第１０条、第２３条～第２６条に部会の規定あり。	・申請時と同様で変更無し。 ※　昨年度実施された各事業においてはいずれも参加条件を設けず、誰もが参加できる事業としたほか、目安箱により住民意見の聴取に努めた。
(6)	申請団体の規約に、運営が民主的に行われる仕組みが規定されているか。	規約第１０条第２項及び第３項に過半数の出席、多数決といった意思決定の方法が規定されている。	・申請時と同様で変更無し。 ※　協議会に関する様々な情報を積極的に発信するため、広報紙を年３回発行し、組織の透明性を高めるよう努めた。
(7)	申請団体に関する、目的、名称、主として活動する区域、主たる事務所の所在地、代表者に関する事項、会議に関する事項が規定された規約があるか。	規約第１条に名称及び主として活動する区域、第２条に主たる事務所の所在地、第３条に目的、第９条に代表者に関する事項、第１０条に会議に関する事項が規定されている。	・申請時と同様で変更無し。
(8)	申請団体の規約に、営利的活動、宗教的活動、政治的活動を主たる目的とする事業が行われないことが読み取れるか。		・別紙事業報告書のとおり、規約第３条に規定された目的達成に関する事業のみを行っている。

平成29年度　浜須賀地区まちのちから協議会名簿

H29．5月末更新

No.	役職	氏　名	所属団体	備考
1	会長	青木　三郎	松浜自治会会長・浜須賀地区自治会連合会会長 ・浜須賀会館管理運営委員会会長	
2	副会長	古谷　宏	浜須賀住宅自治会会長・浜須賀地区社会福祉協議会会長	
3	副会長	清水　孝	協議会推薦・（浜須賀会館管理運営委員会委員）	
4	会計	角田　英子	協議会推薦・（浜須賀会館管理運営委員会委員）	
5	監事	谷藤　保雄	平和町自治会会長	
6	監事	織岡　美法子	浜須賀会館管理運営委員会副会長	
7		吉田　寅三郎	三が丘自治会会長	29度 交代
8		松浦　之生	菱沼南部自治会会長	
9		松村　浩	浜須賀自治会会長	29度 交代
10		岡崎　　進	菱沼海岸緑自治会会長	
11		梅木　千恵子	松涛会自治会会長	
12		栗本　孝文	翠松会自治会会長	
13		小野寺　ちさ子	松が丘ハイツ自治会会長	29度 交代
14		久木田　寛素	菱沼海岸自治会会長	
15		瀬戸　正巳	オーベル茅ヶ崎ラチエン通り自治会会長	29度 交代
16		岡崎　　勉	浜須賀地区社会福祉協議会副会長	
17		小嶋　政雄	浜須賀地区民生委員児童委員協議会会長	
18		上野　隆士	浜須賀地区体育振興会会長	
19		野原　富美子	浜須賀小学校区青少年育成推進協議会会長	
20		足立　　恵	緑が浜小学校区青少年育成推進協議会役員	
21		安藤　桐子	浜須賀小学校PTA会長	
22		安東　綾子	浜須賀中学校保護者会	29度 交代
23		土屋　正則	環境部会長	29度 交代
24		天白　重徳	防災部会長	
25		中村　和子	協議会推薦・（浜須賀会館管理運営委員会会計）	
26		鈴木　敏彦	公募委員	
27				
28				
29				
30				
	準委員	長田　清司	浜須賀中学校	27度～
	準委員	柴山　比都美	浜須賀小学校	27度～
	準委員	西片　尚之	緑が浜小学校	27度～
	準委員	彦坂　昌利	地域包括支援センター「あさひ」	27度～

前年度の活動報告書及び収支決算書

平成２８年度　浜須賀地区まちのちから協議会事業報告

１　会議等の実施

（１）総会、運営委員会、役員会

実施日	会議の名称	主な内容等
平成２８年　４月２９日	総会	２５名出席 （１）議案第１号　平成２７年度事業報告 （２）議案第２号　平成２７年度収支決算 （３）議案第３号　監査報告 （４）議案第４号　平成２８年度役員の変更 （５）議案第５号　平成２８年度事業計画（案） （６）議案第６号　平成２８年度収支予算（案）
５月２１日	臨時総会	２６名出席 議案第１号　平成２８年度補正予算（案）
５月２１日	第１回　運営委員会	市民集会について
６月６日	役員会	広報第６号について（最終校正）
６月１７日	第２回　運営委員会	視察研修について
９月１５日	第３回　運営委員会	（１）地震・津波防災訓練について （２）広報第７号について
９月２８日	役員会	地震・津波防災訓練について
１０月１０日	第４回　運営委員会	地震・津波防災訓練について
１１月７日	役員会	広報第７号について（最終校正）
平成２９年　２月１日	役員会	（１）総会に向けたスケジュールについて （２）事業計画書及び収支予算書（案）の作成について （３）公募委員の選考について
２月２８日	役員会	広報第８号について（最終校正）
３月４日	第５回　運営委員会	（１）「知っておきたい振り込め詐欺の話」 講師　茅ヶ崎警察署　生活安全課　佐藤課長 （２）「避難行動要支援者支援計画（全体計画）（素案）」について
３月２４日	役員会	平成２９年度総会に向けて
３月３１日	第６回　運営委員会	（１）平成２８年度の事業・収支決算、監査報告 （２）平成２９・３０年度協議会役員案 （３）平成２９年度の事業計画案・収支予算案

（２）広報編集会議

実施日	会議の名称	主な内容等
平成２８年　　５月６日	第１回　広報編集会議	（１）平成２８年度発行について （２）第６号のスケジュールについて
６月１日	第２回　広報編集会議	広報第６号について（校正）
９月８日	第３回　広報編集会議	（１）第６号のまとめ （２）第７号の発行時期について
１１月１日	第４回　広報編集会議	第７号について（校正）
平成２９年　１月１９日	第５回　広報編集会議	（１）第７号のまとめ （２）第８号の発行時期について
２月２２日	第６回　広報編集会議	第８号について（校正）

※詳細は、「浜須賀まちのちから」発行事業に記載

（３）防災部会

実施日	会議の名称	主な内容等
平成２８年　４月２３日	オリエンテーション	（１）防災部会について （２）部会長の選出について

※平成２８年度については、津波・地震防災訓練実施のため、役員会、運営委員会、地震・津波防災訓練合同打合会議（１０月２５日開催）にて検討を行った。

（４）環境部会

実施日	会議の名称	主な内容等
平成２８年　４月２１日	オリエンテーション	（１）環境部会について （２）部会長の選出について
５月２５日	第１回　環境部会	（１）浜須賀地区まちのちから協議会・環境部会について （２）浜須賀地区自治会連合会区域図について （３）環境指導員地区会議（環境部）
１１月２２日	第２回　環境部会	（１）環境指導員地区会議（環境部） （２）広報まちのちからについて

２　事業の実施

（１）市民集会

概　要　浜須賀会館に設置する「目安箱」により地区住民が日ごろ疑問に思っていることや、困っていることを募集。地域課題として行政に要望した上で、意見交換を行った。

実施日　平成２８年７月１６日

参加者　７３名

内　容　①　海岸の整備について（プロジェクターによる放映あり）

②　電柱の移設について

③　防火水槽及びポンプ設備の増設について

④　幹線道路の補修について

⑤　ベンチの設置について

⑥　小和田中赤線について

⑦　防犯灯のＬＥＤ化の高さ基準について

⑧　郵便ポストの増設について

⑨　茅ヶ崎ゴルフ場の広域避難場所の存続について

（２）津波・地震防災訓練

概　要　内閣府、茅ヶ崎市と協力し開催。地震における揺れから身を守る重要性と津波避難対策に焦点を当てた訓練を実施。浜須賀小学校を会場として行われた避難所活動訓練については、災害時の応急救護訓練や防災講話とあわせて浜須賀地区の防災訓練を実施。住民の自主的な避難行動や津波に対する意識啓発を図った。

実施日　平成２８年１１月５日

参加者　４００名（浜須賀小学校への避難者数）

その他　役員会、運営委員会、地震・津波防災訓練合同打合会議（１０月２５日）にて検討。

（３）視察研修

実施日　平成２８年７月２６日

参加者　２２名（まちのちから委員１９名、小中学校長３名）

概　要　旭市防災資料館における館内展示（大地震や大津波、原発事故による風評被害など、震災当日から復旧・復興までの道のりを写真や映像、実物、資料など）の見学や施設館長及び旭市総務課職員との意見交換を行った。

（４）すこやか赤ちゃんサポート

概　要　浜須賀地区において、乳幼児とその保護者を対象とした支援事業を実施した。子育ての悩みや楽しみなどを共有する場を設け、乳幼児の健やかな成長と保護者の悩みの解消を図り、地域内の支え合いを通じ住民同士の顔の見える関係づくりに取り組んだ。

（１回あたり６０分～９０分間）

参加者　４５１名

その他　広報や回覧にて事業の案内とあわせて随時参加の呼びかけを行った。

実施日	参加者数	主な内容
４月２１日	４０人（新規８人）	・乳幼児健康相談 ・手遊び「きゅうりができた」「自己紹介遊び」 ・絵本「あさですよ」 ・制作「かぶとづくり」
５月１９日	３４人（新規７人）	・手遊び「ララぞうきん」「あたまかたひざぽん」 ・絵本「しろくまちゃんのホットケーキ」ほか ・制作「記念紙皿時計づくり」 ・なかよしタイム
６月１６日	４９人（新規１０人）	・乳幼児健康相談 ・手遊び「いっぽん橋」 ・自由遊び「ボールプール」
７月２１日	８人	・手遊び「りんごコロコロ」「ララぞうきん」ほか ・絵本「だるまさんが」「いないいないばーあ」 ・制作「でんでん太鼓」 ・おしゃべりタイム
８月１８日	４４人（新規１２人）	・乳幼児健康相談 ・手遊び「あたまかたひざぽん」「おせんべやけたかな」 ・絵本「でんでんでん」「ぐるぐるぐーん」 ・仲良しタイム
９月１５日	２０人	・絵本「こっちむいて」「パパおつきさまとって」 ・制作「太陽のアルバムづくり」 ・保健師と離乳食、夜泣きに関する質疑応答
１０月２７日	４８人（新規２０人）	・乳幼児健康相談 ・絵本「どうぶつのおやこ」「ぶうぶうぶう」 ・手遊び「きゅうるができた」「あたま・かた・おひざ」
１１月１７日	２４人	・大広間で運動会「おいでおいで競争」「わなげ競争」 ・手遊び「バスに乗ってゴーゴー」 ・保健師による三種混合、インフルエンザ予防のはなし ・おしゃべりタイム
１２月１５日	４０人（新規１２人）	・乳幼児健康相談 ・絵本「どうぶつのおやこ」「あさですよ」 ・仲良しタイム

		・保健師によるインフルエンザ予防のはなし ・栄養士によるノロウイルスの取扱いに関するはなし
１月１９日	３２人（新規２人）	・絵本「くっついた」「きんぎょにげた」 ・手遊び「風にゆられてゆらゆら」「きらきら星」ほか ・制作「牛乳パックを使ってパクパク」 ・保健師によるノロウイルスのはなし
２月１６日	６２人（新規１８人）	・乳幼児健康相談 ・制作「お雛様づくり」
３月１６日	５０人（新規６人）	・絵本「ぐるぐるぐるーん」「てんてんてん」ほか ・手遊び「あたまかたひざぽん」「ラララ雑巾」ほか ・制作「色紙に写真はり」

（５）広報「浜須賀まちのちから」発行事業

住民に「当事者として地域のことを考えてもらう」ためのきっかけづくりとして、浜須賀地区まちのちから協議会の活動紹介や、浜須賀地区のさまざまな情報を掲載した広報紙を発行し情報発信を行った。また、平成２８年１１月５日に実施した津波・地震防災訓練に関する情報を、より多くの住民に発信するため、第７号における情報発信の手法を当初予定していた回覧から全戸配布へ変更した。

○第６号（２８年７月１日発行。５，５００部。全戸配布）

○第７号（２８年１２月１日発行。５，５００部。全戸配布）

○第８号（２９年３月１５日発行。６００部。回覧）

３　その他の取り組み

公募委員の募集

概　　要　公募委員の任期満了に伴い、新たに公募委員の募集を行った。

公募期間　平成２９年３月１日から３月１５日

応募者数　１名

結　　果　応募のあった１名を公募委員として選考した。

そ の 他　広報ちがさき２月１５日号に募集記事を掲載

浜須賀会館及び茅ヶ崎市役所市民自治推進課に募集案内を配架

平成２８年度　浜須賀地区まちのちから協議会収支決算

収入　（単位：円）

項　目	予算額	決算額	内　　容
補助金	２５０，０００	２５０，０００	市より（100,000＋150,000）
繰入金	４２	４２	前年度からの繰越金
受取利息	０	６	
計	２５０，０４２	２５０，０４８	

支出　（単位：円）

項　目	予算額	決算額	内　　容
事務消耗品	２４，０００	０	事務用品等
会議費	２３，０００	７，３１６	コピー、会議用お茶
役員手当	４０，０００	４０，０００	会長、副会長、会計
事業費	１５０，０００	１６７，７９９	赤ちゃんサポート、視察研修費、市民集会、講演会
負担金	１０，０００	３３，０００	茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会、地区社協主催敬老会
その他	３，０４２	０	
市へ返還	０	１，８８５	
繰越金	０	４８	利息分　次年度へ
計	２５０，０４２	２５０，０４８	

上記のとおり、報告します。

会長　　青木　三郎

会計　　角田　英子

収支決算書、預金通帳、証書類を監査しましたところ、適正なものと認めます。

平成２９年３月２４日

監事　　谷藤　保雄

織岡　美法子

当該年度の活動計画書及び収支予算書

浜須賀地区まちのちから協議会　２９年度事業計画

１　茅ヶ崎市地域コミュニティの認定等に関する条例に基づく事務

（１）条例に基づく各種提出書類の作成事務

（２）認定コミュニティ助成金（運営費等助成金、特定事業助成金）の交付申請に関する事務

２　広報・情報発信の強化

住民に「浜須賀地区の一員である」という当事者意識を醸成させるとともに、組織の透明性や、活動の民主性を高めるため、協議会の活動紹介や取り組み状況など、浜須賀地区に関するさまざまな情報発信を行う。

（１）広報紙の発行　年３回発行　フルカラー版

第　９号　　７／１（全戸配布。５，５００部）

第１０号　１１／１（回覧。６００部）

第１１号　　３／１（回覧。６００部）

※広報編集委員（１０名）＝　協議会会長、協議会副会長、協議会会計、地区自治会連合会、地区社会福祉協議会、浜須賀会館管理運営委員会、地区民生委員児童委員協議会、地区体育振興会、学区青少年推進協議会（２学区）

（２）ホームページ関連

茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会が開設するホームページ内に、浜須賀地区まちのちから協議会として、これまで発行してきた広報紙を掲載する。

３　視察研修の実施

実施時期　未定

４　市民集会の開催

実施日時　７月１５日（土）　１３：３０（予定）

備　　考　・チラシの作成（広報ちがさき６月１日号と同時回覧）

・広報ちがさき６月１５日号に記事掲載

・目安箱による地域課題に関する意見募集の実施（６月２３日（金）締め切り））

５　地区防災訓練の実施

実施時期　１０月７日（土）（予定）

実施体制及び訓練内容等については、協議の上進めていく。

６　地区乳幼児等サポート事業

絵本の開き読み、各種製作、健康づくり事業など、乳幼児とその保護者を対象とした支援事業を

実施（年に１２回実施。1回あたり９０分間）。子育ての悩みや楽しみなどを共有する場を設けることにより乳幼児の健やかな成長と保護者の悩みの解消、地域内の支え合いを通じた住民同士の顔の見える関係づくり、子育て中の保護者の孤独予防、地域活動における担い手の発掘などに取り組む。

事業内容

・絵本の開き読み　・手遊び　・お話しタイム　・健康アドバイス・ボールプール　・おもちゃ
・製作（かぶと、でんでん太鼓、アルバム、手形、クリスマスツリー、メッセージ、お雛様など）
・健康づくり（エアコン予防、乾燥予防、汗予防対策、インフルエンザ予防、ノロウイルス予防、離乳食について、水分の与え方についてなど）

7　地域交流事業

地域内の子どもを対象とした事業を実施することで、地域のイベントに対する親世代の参加を促す。学区をまたいだ親子同士の交流や世代間交流など、地域内住民の交流の場づくりに取り組むとともに、イベントを通じて協議会の活動を住民に知ってもらう。

具体的な事業案として、小学校や青少年育成推進協議会と連携したなかでプラネタリウムの実施を予定。実施時期及び実施体制については、協議の上進めていく。

8　環境部会の開催

地域内における環境美化に関する取り組みを推進していくため、環境指導員により構成する組織を設置し、協議や意見交換などの取り組みを行う。

実施時期　５月及び１１月

9　防災部会の開催

地域防災力の向上を目的として、各自治会の防災リーダーにより構成される組織を設置し、防災活動に関する意見交換及び防災対策に関する協議を行う。

実施時期　適宜

平成２９年度　浜須賀地区まちのちから協議会収支予算

収入　（単位：円）

項　目	予算額	内　　容
補助金	６１５，７４０	市より　運営費等助成金　２５０，０００ 特定事業助成金　３６５，７４０
繰入金	４８	前年度からの繰入金
計	６１５，７８８	

支出　（単位：円）

項　目	予算額	内　　容
事務消耗品	１３，０００	事務用品等
会議費	１３，０００	コピー、印刷、郵送料
役員手当	４０，０００	会長、副会長、会計
事業費	５１５，７４０	視察研修、市民集会　１５０，０００ 広報紙発行事業　２１１，４１０ 赤ちゃんサポート事業　１５４，３３０
負担金	３３，０００	まちぢから協議会連絡会等
その他	１，０４８	
計	６１５，７８８	

特定事業の概要

浜須賀地区まちぢから協議会では、特定事業助成金を活用し、「地域乳幼児サポート事業」と「広報浜須賀まちのちから発行事業」の２つの取り組みを実施しています。

１　地域乳幼児サポート事業　年に１０回実施　１回あたり６０～９０分

（１）事業の概要

市が毎月開催していた乳幼児健康相談が平成２４年度より隔月開催となったことに伴い、子育て中の保護者からは「気軽に集まることができる交流の場」が求められていた。浜須賀地区まちのちから協議会ではこうした住民ニーズに応えるため、市と協働で企画を練り、乳幼児健康相談の実施主体となり乳幼児とその保護者を対象とした支援事業を実施している。

（２）事業のねらい

・子育ての悩みや楽しみなどを共有する場を設ける乳幼児の健やかな成長と保護者の悩みの解消
・地域内の支え合いを通じた浜須賀地区における住民同士の顔の見える関係づくり
・子育て中の保護者の地域の中で孤独予防
・将来的な地域の担い手の発掘（サポートスタッフが多くなることで、地域の担い手の発掘に繋がる。本事業のほか、地域内の様々な活動に目を向けてもらえるようになる）

（３）平成２８年度実績

参加人数は、延べ人数４５１人　口コミでの参加者が増えている。

２　広報「浜須賀まちのちから」発行事業　年に３回発行

（１）事業の概要

住民に「当事者として地域のことを考えてもらう」ためのきっかけづくりとして、浜須賀地区まちのちから協議会の活動紹介や、浜須賀地区のさまざまな情報を掲載した広報紙を発行し情報発信を行う。

（２）事業のねらい

組織の透明性や、活動の民主性を高めるほか、「浜須賀地区の一員である」という、住民ひとりひとりの当事者意識を醸成させ、何かしらの形で浜須賀地区のことを考えてもらうためのきっかけとして実施。少しでも地域活動に興味をもってくれる人が増え、最終的には本協議会が浜須賀地区のまちづくりにおける中心的な役割を担っていく上で重要となる「担い手の発掘」につながっていくことを期待した取り組み。

（３）平成２８年度実績

第６号＝７／１（全戸配布）　５，５００部
第７号＝１２／１５（全戸配布）　５，５００部
第８号＝３／１（回覧）　６００部

特定事業実施報告書（地域乳幼児サポート事業）

事業実施報告書

<table>
<tr><td rowspan="6">事業の実施内容</td><td>事業の名称</td><td colspan="3">地域乳幼児サポート事業</td></tr>
<tr><td>活動内容</td><td colspan="3">浜須賀会館大広間にて、乳幼児とその保護者を対象とした各種支援事業（悩み相談、手遊び、読み開き、お話しタイムなど）を実施。
詳細は別紙「平成２８年度すこやか赤ちゃんサポート報告」のとおり。</td></tr>
<tr><td>活動期間</td><td colspan="3">平成２８年４月～平成２９年３月３１日</td></tr>
<tr><td>実施体制</td><td>・浜須賀地区まちのちから協議会委員１名
・地区民生委員児童委員協議会より４名
・茅ヶ崎市より保健師１名
・ボランティア２名</td><td>周知方法</td><td>自治会回覧や広報「浜須賀まちのちから」を活用し積極的に周知を図った。</td></tr>
<tr><td>参加者数</td><td>合計４５１人</td><td>実施日</td><td>別紙「平成２８年度すこやか赤ちゃんサポート報告」のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の目的や効果は達成できましたか</td><td colspan="3">手さぐり状態で始めた事業でしたが、市役所の保健師、地区民生委員などの協力を得て、期待以上の盛況となっています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業を計画的に実施することができましたか</td><td colspan="3">事業の企画、実施については手さぐりで行っているものの、サポートスタッフに加え、隣接する浜須賀保育園の先生の協力もあり、楽しい事業展開を行っています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">予算計画や予算配分は適正でしたか</td><td colspan="3">毎月の事業に関する予算、また事業を行うための衛生用品、おもちゃ、備品に対して良い配分が出来ています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の対象者となる地域住民の意見聴取に努めましたか</td><td colspan="3">事業実施の数年前から、乳幼児健康相談の保健師、保育園園長、地区民児協、浜須賀会館管理運営との会合を数回経て実施に至っています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">一緒に活動するメンバーはやりがいを感じていましたか</td><td colspan="3">まちのちから協議会が発行する広報紙「浜須賀まちのちから」の募集を見て応募され、スタッフとなったメンバーからは、赤ちゃんに触れ合えて心が癒されると話しています。その他スタッフも、楽しみながら、いきいきと取り組んでいただいています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の実施によって地域コミュニティの醸成や新たな担い手の発掘につながりましたか</td><td colspan="3">これからの課題ともなっています。母子は口コミで段々増えてきていますが、それを担うスタッフが手薄となっています。広報紙「浜須賀まちのちから」や浜須賀会館に展示する写真等を活用し、事業のお知らせを行いながら、担い手の発掘に関する取り組みを行っていきたいと考えています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">課題と今後の展望について</td><td colspan="3">若いお母さん方がこの浜須賀の地で自信を持って子育てしていける環境になるよう、明るい楽しい安心な地域にしていきたいと考えています。</td></tr>
</table>

収支決算書

収入

科　　目	予 算 額	決　算　額	内　　訳
補助金	120,000	120,000	市から（特定事業助成金）
計	120,000	120,000	

支出

科　　目	予 算 額	決　算　額	内　　訳
謝礼	70,000	65,000	1,000円／回
消耗品費	50,000	38,364	絵本、フェルト、油性ペン、のり、ファイルほか
印刷製本費		800	コピー
会議費		5,256	お茶
遊具購入費		3,791	
市へ返還		6,789	
計	120,000	120,000	

＊対象経費は、領収証等により、認定コミュニティが支払ったことが確認出来ることが必要です。

平成２８年度すこやか赤ちゃんサポート報告

平成 29 年 3 月 20 日

期日	参加人数	主な内容
４月２１日	４０人 (新８人) スタッフ５名	乳幼児健康相談同時開催 手遊び：「きゅうりができた」、自己紹介遊び 絵本：「あさですよ」 制作：かぶとづくり
５月１９日	３４人 （新７人） スッタフ５名	絵本：「しろくまちゃんのホットケーキ」「ねんねんよ」 「ペロチューパチュー」 手遊び：「ラララぞうきん」「あたまかたひざぽん」 保健師：「きゅうりができた」 制作：紙皿時計わが子の生まれた時間を時計に記載して、記念にする。 なかよしタイム：お母さん同志の語らい
６月１６日	４９人 （新 10 名） スッタフ８名	乳幼児健康相談同時開催 手遊び：いっぽん橋 自由遊び：ボールプール遊び・おもちゃ
７月２１日	８人 保育園先生１名 スッタフ３名	保育園の西尾先生来館 手遊び：「りんごコロコロ」「ラララぞうきん」「きゅうりができた」 絵本：「だるまさんが」「いないいないばーあ」 制作：「でんでん太鼓」 保健師：汗をかくので帰宅したらタライで水遊び 清潔、エアコンは直接当たらないよう注意 おしゃべりタイム：お茶をしながらお母さん同志語らい
８月１８日	４４人 (新 12 人) スッタフ８名 役所　　５名	乳幼児健康相談同時開催 手遊び：「あたまかたひざぽん」「おせんべやけたかな」 絵本：「でんでんでん」「「ぐるぐるぐるーん」 仲良しタイム：お母さん同志語らいのとき
９月１５日	２０人 スッタフ６名 役所　　１名	絵本：開き読みの会の長谷川さんより「こっちむいて」 「パパおつきさまとって」 十五夜の過ごし方：お母さん方の体験談 制作：太陽のアルバムづくり 保健師：離乳食、夜泣きの質問問答
10 月 27 日	４８人 (新２０人) スッタフ８名 役所　　７名	乳幼児健康相談同時開催 大勢の赤ちゃん、お母さん順番待ちをしながらお隣になったお母さん同志おはなしするようになる 絵本：「どうぶつのおやこ」「ぶうぶうぶう」 手遊び：「きゅうりができた」「あたま・かた・おひざ」
11 月 17 日	24 人 スッタフ８名 役所　　１名	「大広間で運動会」 おいでおいで競争・わなげ競走を親子で行う 手遊び：バスに乗ってゴーゴー 保健師：三種混合、インフレレンザ予防のはなし。 おしゃべりタイム：お茶を飲みながら

12月15日	４０人 (新12人) スッタフ７名 役所　　４名	乳幼児健康相談日と同時開催 絵本：「どうぶつのおやこ」「あさですよ」 仲良しタイム：お母さん同志のおしゃべり 保健師：流行ってきたインフレんザ予防について 栄養士：ノロウイルスの取り扱いについてのはなし
1月１９日	３２人 （新２人） 保育園２名 スッタフ５名 役所　１名	保育園の西尾先生と元園長の大村先生来館 絵本：「くっついた」「きんぎょにげた」 手遊び：「風にゆられて、ゆうらゆら」・きらきら星 からだにいいものはレモン汁、ぎゅうとしぼって 制作：牛乳パックを使ってパクパク（うさぎ・ねこ） 保健師/ノロウイルスについて
2月16日	６２人 (新１８人) 役所　　５名 スッタフ８名	乳幼児健康相談：順番を待ちながら仲良しお母さん同志おしゃべり。 制作：健康相談が終ったものからお雛様づくり。 注意：全体がわさわさしていたので見守りに徹した。
3月16日	５０人 （新６人） スッタフ７名 役所　　１名	開き読み：「ぐるぐるぐるーん」「てんてんてん」「くつくつあるけ」（小林） 手遊び：「あたま・かた・ひざポン」「ラララ雑巾」 「げんこつやまのたぬきさん」「きらきらぼし」（織岡） 制作：色紙に写真を貼りつけスファロスキーのきらきらをつけて工夫をしてしあげる （親が制作中隼也くんが左目の上テーブルの角にぶつける大事には至らなかった）すぐに冷やした

浜須賀まちのちから協議会：すこやか赤ちゃんサポート/担当・織岡美法子

特定事業評価表

事業名	地域乳幼児サポート事業
地区名	浜須賀地区

全体に関する評価や今後に向けたコメント等

子育て世代の集いの場、情報交換の場となっており有意義である。地域内で有資格者のさらなる人材発掘を検討するとともに、参加者が将来サポーター役となるなど、新たな担い手の創出に期待しています。

特定事業実施報告書（広報「浜須賀まちのちから」発行事業　第６号・８号）

事業実施報告書

<table>
<tr><td rowspan="5">事業の実施内容</td><td>事業の名称</td><td colspan="3">広報「浜須賀まちのちから」発行事業　第６号・８号</td></tr>
<tr><td>活動内容</td><td colspan="3">浜須賀地区まちのちから協議会の活動紹介や、浜須賀地区のさまざまな情報を掲載した広報紙を発行し情報発信を行った。</td></tr>
<tr><td>活動期間</td><td colspan="3">平成２８年４月１日から平成２９年３月３１日</td></tr>
<tr><td>実施体制</td><td>広報編集委員会にて企画
印刷仕分け作業を委託</td><td>周知方法</td><td></td></tr>
<tr><td>参加者数</td><td>広報発行対象
５，５００世帯</td><td>実施日</td><td>第６号　７月１日発行
第８号　３月１５日発行
※第７号は事業内容の一部を変更し、別に事業提案を行った。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の目的や効果は達成できましたか</td><td colspan="3">多くの住民に関わりがある事柄やタイムリーな話題をテーマとすることで、地域活動に対する興味や関心を惹き、広報紙を手にとってもらえるよう工夫を講じてきた。引き続き情報発信を通じ組織の透明性を高めつつ、ひとりでも多くの住民に当事者として地域を考えてもらえるよう取り組んでいきたい。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業を計画的に実施することができましたか</td><td colspan="3">第７号における情報発信の手法を、回覧から全戸配布へ変更することに伴い、一部発行スケジュールを変更したが、地域の情報をより多くの住民に発信するための計画変更であり、第６号及び第８号の発行に至るまでの編集会議や印刷委託、配布については計画どおり遂行できた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">予算計画や予算配分は適正でしたか</td><td colspan="3">当初予定していた第７号の発行経費については、別の特定事業として提案し、助成金の交付を受けたため不用となったが、第６号及び第８号の発行経費については収支予算書どおり執行した。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の対象者となる地域住民の意見聴取に努めましたか</td><td colspan="3">編集委員会は、まちのちから協議会の役員のほか、地区自治会連合会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区体育振興会、各学区の青少年育成推進協議会、浜須賀会館管理運営委員会で組織されており、それぞれの組織にて住民からの意見や要望に努めている。また、浜須賀会館に設置する「目安箱」により住民からの意見聴取に日常的に取り組んでいる。事業ごとに意見を聴取する機会を設けるかどうか、必要性も含め検討していきたい。</td></tr>
<tr><td colspan="2">一緒に活動するメンバーはやりがいを感じていましたか</td><td colspan="3">広報編集会議のメンバーが、それぞれ記事づくりを担当しており、住民に伝わりやすく、より興味をもってもらえるよう、試行錯誤を重ねながら発行作業に取り組んできた。広報紙をより良くするための意見交換が積極的に行われており、メンバーには責任感とやりがいをもって取り組んでもらえたと考える。</td></tr>
</table>

事業の実施によって地域コミュニティの醸成や新たな担い手の発掘につながりましたか	メンバーのやりがいの部分と同じく、よい紙面づくりを行えるよう、編集メンバーが意見交換や協議をしながら行っているほか、地域内のさまざまな団体に、「発信するための情報」を提供してもらっており、まちのちから協議会と各種団体が連携、協力し合いながら、地域一丸となり取り組んでいる。
課題と今後の展望について	より興味や関心をひく紙面づくりを行うため、平成２９年度からはカラー版を発行する予定。

収支決算書

収入

科　　目	予　算　額	決　算　額	内　　訳
補助金	136,600	136,600	認定コミュニティ特定事業助成金
計	136,600	136,600	

支出

科　　目	予　算　額	決　算　額	内　　訳
委託料	136,600	112,212	第６号、第７号発行分
市へ返還		24,388	第７号発行分
計	136,600	136,600	

＊対象経費は、領収証等により、認定コミュニティが支払ったことが確認出来ることが必要です。

特定事業実施報告書（広報「浜須賀まちのちから」発行事業　第７号）

事業実施報告書

<table>
<tr><td rowspan="6">事業の実施内容</td><td>事業の名称</td><td colspan="3">広報「浜須賀まちのちから」発行事業　第７号</td></tr>
<tr><td>活動内容</td><td colspan="3">平成２８年１１月５日（土）に実施した「津波・地震防災訓練」について、ひとりでも多くの住民に知ってもらうため、広報紙を発行、全戸配布し、浜須賀地区まちのちから協議会の活動紹介や、浜須賀地区のさまざまな情報とあわせて情報発信を行った。</td></tr>
<tr><td>活動期間</td><td colspan="3">平成２８年１１月１７日から平成２８年１２月１日</td></tr>
<tr><td>実施体制</td><td>広報編集委員会にて企画
印刷仕分け作業を委託</td><td>周知方法</td><td></td></tr>
<tr><td>参加者数</td><td>広報発行対象
５，５００世帯</td><td>実施日</td><td>第７号　１２月１日発行</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の目的や効果は達成できましたか</td><td colspan="3">多くの住民に関わりがある事柄やタイムリーな話題をテーマとすることで、地域活動に対する興味や関心を惹き、広報紙を手にとってもらえるよう工夫を講じてきた。引き続き情報発信を通じ組織の透明性を高めつつ、ひとりでも多くの住民に当事者として地域を考えてもらえるよう取り組みたい。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業を計画的に実施することができましたか</td><td colspan="3">発行に至るまでの編集会議や印刷委託、配布について計画どおり遂行できた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">予算計画や予算配分は適正でしたか</td><td colspan="3">収支予算書どおり予算執行できた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の対象者となる地域住民の意見聴取に努めましたか</td><td colspan="3">編集委員会は、まちのちから協議会の役員のほか、地区自治会連合会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、地区体育振興会、各学区の青少年育成推進協議会、浜須賀会館管理運営委員会で組織されており、それぞれの組織にて住民からの意見や要望に努めている。また、浜須賀会館に設置する「目安箱」により住民からの意見聴取に日常的に取り組んでいる。事業ごとに意見を聴取する機会を設けるかどうか、必要性も含め検討していきたい。</td></tr>
<tr><td colspan="2">一緒に活動するメンバーはやりがいを感じていましたか</td><td colspan="3">広報編集会議のメンバーが、それぞれ記事づくりを担当しており、住民に伝わりやすく、より興味をもってもらえるよう、試行錯誤を重ねながら発行作業に取り組んできた。広報紙をより良くするための意見交換が積極的に行われており、メンバーには責任感とやりがいをもって取り組んでもらえたと考える。</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の実施によって地域コミュニティの醸成や新たな担い手の発掘につながりましたか</td><td colspan="3">メンバーのやりがいの部分と同じく、よい紙面づくりを行えるよう、編集メンバーが意見交換や協議をしながら行っているほか、地域内のさまざまな団体に、「発信するための情報」を提供してもらっており、まちのちから協議会と各種団体が連携、協力し合いながら、地域一丸となり取り組んでいる。</td></tr>
</table>

課題と今後の展望について	より興味や関心をひく紙面づくりを行うため、平成２９年度からはカラー版を発行する予定。

収支決算書

収入

科　　目	予 算 額	決　算　額	内　　訳
補助金	93,852	93,852	認定コミュニティ特定事業助成金
計	93,852	93,852	

支出

科　　目	予 算 額	決　算　額	内　　訳
委託料	93,852	93,852	印刷委託（仕分け作業含む）
計	93,852	93,852	

＊対象経費は、領収証等により、認定コミュニティが支払ったことが確認出来ることが必要です。

浜須賀まちのちからニュース

浜須賀まちのちから

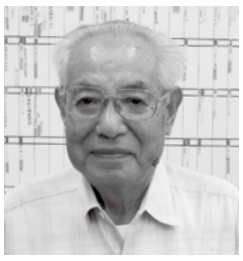
平成28年7月1日発行

浜須賀地区まちのちから協議会
編集会

発行責任者　青木三郎
茅ヶ崎市松が丘2丁目8番63号
TEL 0467（87）1101

印刷　仲手川印刷

まちのちからの経過と今



浜須賀地区まちのちから
協議会　会長
青木　三郎

平成24年8月、市長に呼ばれました。その内容は、自治基本条例第25条（コミュニティ）、第26条（協働）にその根拠として新しい組織を地区と市の協働で設立をモデル地区としてお願いしたいとのことでした。早速地元に戻り自治会連合会、浜須賀会館管理運営委員会の役員と協議をし、新たな地域コミュニティの取り組みとして、自治会をはじめ地区内の各種団体が一堂に会し、住みよい浜須賀づくりを考えていく協議の場「（仮称）浜須賀地区まちぢから協議会（人や地区に存在する資源＝力を結集する場」の設置を進めていくこととしました。

当地区ではもともと、浜須賀会館管理運営委員会の委員は各団体の代表者の集まりで構成されていますので、皆が意見をする場と言いうものは確立されております。ただ、それとの機能の棲み分けも考える必要があることから、まず協議の場の設立準備会を組織しました。仮称ではありますが、「まちぢから」とは言いづらいなどの意見があり、市に確認したところ「まちぢから」という表現は使わなくてもよいとのことでした。そこで、名称は「浜須賀地区まちのちから協議会」とし、協議会規約も定め、平成25年5月9日に設立総会を開催し、名称も規約も全員一致可決されました。その後、運営が進むにつれ、規約については、実態に即した形に合わせたり、市全体の統一感を持たせるための字句訂正をしたりなど、臨時総会を開催しながら、直近では平成28年3月29日をもって現在の体制で動き出しております。

今年の事業計画は、まず、広報紙を7月1日に発行する予定としました。年度初めですので、年間計画を掲載するようにと、各団体にお願いをいたし、地域の皆様方の関心をもたれるように全戸配布としました。その後、11月、3月には回覧を予定しております。そのほか、地区の皆様への周知の取り組みとして、ホームページの事業につきましては、現在のところ検討中です。

恒例の市民集会は7月16日（土）午後1時30分から浜須賀会館で実施いたします。浜須賀会館に設置しております「目安箱」にお寄せいただいたご意見・ご質問を参考に、当日は市長をはじめ関係部課長との意見交換をしていきたいと考えております。なお回覧も実施いたします。

地区防災訓練につきましては、11月5日（土）に予定しております。今年は同日に内閣府が行う津波の避難訓練と合わせて実施する方向で市と調整をしておりますが、その内容については各自治会・自主防災会及び防災リーダー等を通じてお知らせいたします。

定例的な取り組みとして、若いお母さん方に大変人気があります「すこやか赤ちゃんサポート」は、毎月第3木曜日に浜須賀会館で実施しております。子育て奮闘中のお母様と赤ちゃんを地域ぐるみで支えていこうという取り組みです。話し相手やサポートをしていただける方を募集中ですので、ぜひ浜須賀会館までお問い合わせいただきたいと思っております。

また、浜須賀地区まちのちから協議会には環境部会、防災部会がございます。それぞれ関係する部署と協議をされ、地域の皆様方の奉仕者として活動をしてまいります。

今年度も浜須賀地区まちのちから協議会の取り組みにつきまして、皆様のあたたかいご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

地域社会と学校・家庭との連携の大切さ

浜須賀中学校
校長
亀田　春彦

皆さまこんにちは。日頃より生徒たちの見守りや地域行事を通して、生徒たちの健全な育成に向けて、大変お世話になっております。

私は、平成24年4月1日より浜須賀中学校に着任しました亀田春彦と申します。2年間は本校の教頭として、その後校長として3年目を迎えます。さらに30数年前には新任教員として6年間この浜須賀中で勤務しましたので、足かけ11年目となります。どうぞ宜しくお願いいたします。

私は常日頃から、子供たちの教育は単に学校だけでなく、学校・家庭・地域社会が、それぞれの適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携して行われることが重要であると考えております。

家庭は親子等を中心とした人間関係づくりの場、学校は同年齢の児童生徒を中心とした人間関係づくりの場、地域はさまざまな立場の多くの人々が共に支えあい、つながり合う場です。その特性と役割を大切にしながら、三者が一体となった組織的な活動を展開することが学校経営にも求められています。

この浜須賀地区は神社、仏閣がない珍しい地区ですので、意図的に人々が集う機会をつくらなければ、人間関係が希薄となり、互いに支え合おうとする意識が弱まり、家庭が孤立化してしまいます。

浜須賀まちのちから協議会は、浜須賀会館を拠点として、防災、環境、子育て、地域行事等、多方面の活動の中心となり、地域の発展のために大きな役割を担っております。

本校でも、浜須賀会館まつりやビーチクリーン、子ども料理教室等に積極的に生徒ボランティアを送り出し、地域を愛し、地域に貢献できる人材の育成に向けて、取り組んでいこうと考えております。

浜須賀中学校は地域の皆さまに支えられ、開校41年目を迎え、9000名を越える卒業生が巣立っており、それぞれの立場で活躍しているところです。今年度は普通学級18クラス、特別支援学級3クラス、合計21クラス、686名の生徒が在籍し、茅ヶ崎で2番目の大規模校となりました。

「あいさつが響き合う学校」「保護者・地域から信頼される学校」「安全できれいな学校」をめざして、全職員が「チーム浜須賀」として組織的に取り組んでいく所存でおります。今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

鉄砲道の自転車レーンの共用開始に伴い地域と連携した啓発活動のご報告

平成28年3月23日から鉄砲道の自転車レーンの共用開始が始まりました。これは平成25年の市民のつどいに、地域のお年寄りの方々より、鉄砲道の歩道を歩くのに、若者が自転車で歩道をスピードを落とさず走るのでとても怖いという声があり、地域として小、中の先生に呼びかけをしたり、地域を挙げて交通安全に取り組んでまいりました。

関係機関のご協力により、この自転車レーンが2年半で通行可能になりました。去る4月13日に茅ヶ崎警察署や茅ヶ崎自転車プランアクション22、市関係課等のご協力により、マツモトキヨシ茅ヶ崎市松が丘店を起点に、夜光副市長、浜須賀地区まちのちから協議会青木会長、茅ヶ崎市警察交通課長さん方々の自転車の安全走行についてのご挨拶のあと、浜須賀地区まちのちから協議会や、地域の皆さんで自転車による率先走行や、実施区間の啓発活動を行いました。

「自転車も乗れば車の仲間入り」「自転車は左側通行」というキャッチフレーズを合言葉に鉄砲道だけでなく茅ヶ崎の交通安全に皆さんで取り組みましょう。

浜須賀地区自治会連合会

浜須賀地区まちのちから協議会が発足いたしましたが、各単位自治会の集合・連合組織である「浜須賀地区自治会連合会」は、浜須賀地区まちのちから協議会に地区内で活動する各種団体の組織する一団体として参画しております。

自治会は今後も浜須賀地区の中心的な役割があります。自治会の活動する事業として、最近特に重要となってきました自主防災組織の運用・強化、環境組織の育成、それらに関することや自治会員の親睦を深める取り組みなどが挙げられますが、自治会内の融和を図りながら運営していく中で、いろいろと課題も出てきます。

そのような時、互いに課題を持ち寄って協議をしたり検討したりするのが連合会組織です。また、自治会は今後も廃止されることはなく未来永劫存続していく大事な会だと思っております。今後ますます自治会は地区の中でも問題が多くなってくることも予想されますが、互いに助け合い協力し是々非々の態度で対処し、浜須賀地区に住んでよかったといわれるようにみんなで頑張りましょう。

浜須賀地区社会福祉協議会

昨年度には当社協設立30周年記念事業として「福祉マップ」保存版を作成し、4月に全戸配布をしました。ご自宅で身近においてご活用下さい。

平成28年度の事業活動も早や3カ月が経過しましたが、今年度の主な事業企画の日程をお知らせいたします。

■サロンはますか
毎月第2、第4金曜日

■福祉講座
7月、2月に各1回

■敬老のつどい
9月3日（土）77歳以上の方

■サポートはますか
毎週 月、火、木、金
（9時30分～12時）

■ふれあい昼食会
毎回 11時～ 対象者にご案内
5月20日（金）▼平和町、浜須賀（1回目 済）
6月17日（金）▼三が丘、オーベル、菱沼海岸、菱沼海岸緑（1回目 済）
7月1日（金）▼松浜、浜須賀住宅、松涛会、翠松会（1回目）
10月7日（金）▼菱沼南部、松が丘ハイツ（1回目）
11月18日（金）▼平和町、浜須賀（2回目）
12月16日（金）▼三が丘、オーベル、菱沼海岸、菱沼海岸緑（2回目）
1月20日（金）▼松浜、浜須賀住宅、松涛会、翠松会（2回目）
3月3日（金）▼菱沼南部、松が丘ハイツ（2回目）

■会館まつり時の福祉バザー
10月22日（土）

■福祉なんでも相談
毎月第1水9時30分～12時

浜須賀地区民生委員児童委員協議会

65才以上在宅高齢者実態調査を終えて

昨年5月12日から7月31日までの約2カ月半に渡り、標記の調査を実施しました。3年に一度のこの調査は、市内の全民生委員が高齢者宅を訪問し、調査票に基づき聞き取り調査をします。その結果が報告書にまとまりました。

市全体の人口は増加傾向にあり、65歳以上の高齢者はその増加率より高くなっています。調査でわかった浜須賀地区の特徴をお知らせします。

・65歳以上の高齢者は3643人で75歳以上が5割を超えています。
・「一人暮らしの高齢者」と「高齢者のみの世帯」の割合は、合わせて5割を超えています。
・健康状態は「良い」と答えた人が4割を超えていて、「普通」と答えた人と合わせると約9割の人が元気に暮らしていることがわかります。
・災害時要援護者支援制度には約1割の方が登録していますが、登録していない方の6割以上は「近くに家族がいる」または「近所と親しい」と答えています。

今年度の活動計画
・児童クラブ（おおなみ・こなみ）の見学
・富士宮市の地域包括ケア推進事業の視察
・ロボケアセンター見学と体験
・各種研修と福祉施設訪問
・ふれあい昼食会、下校時パトロール、敬老のつどい、会館まつりなどへの参加協力

活動計画は都合により変更・追加もありますが、民生委員児童委員の活動の一助となるよう掛けていきます。

浜須賀地区体育振興会

浜須賀地区体育振興会は、今年40周年を迎えます。新たな気持ちで、活動を進めてまいりますので皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

本年度も球技大会、納涼祭、体育祭など恒例行事の開催と茅ヶ崎市主催の大会への参加を予定しておりますので、奮ってご参加下さいますようよろしくお願い致します。

■事業計画
・球技大会　6月12日（日）
・納涼祭　7月23日（土）
・体育祭　10月2日（日）（予備日9日）
・浜須賀会館まつり（模擬店、展示）　10月22日（土）
・教室　ソフトバレー（毎週木曜日）
・講習会　ファミリーバドミントン

■茅ヶ崎市主催の大会への参加
・高南一周駅伝競走大会　平成29年1月9日（月）
・ニュースポーツフェスティバル　2月19日（日）
・ファミリーバドミントン大会　3月5日（日）

■平成27年度地区別親善大会結果のご報告

○ニュースポーツフェスティバル
2月21日（日）第19回地区別親善ニュースポーツフェスティバルが、総合体育館・中央公園で開催されました。ソフトバレーボール女子2チーム、混合1チーム、ペタンクーチームが参加しました。白熱した試合が多く、とても盛り上がった大会でした。

ペタンク Aチーム 準優勝

○ファミリーバドミントン大会
3月6日（日）第3回地区別親善ファミリーバドミントン大会が総合体育館で開催され、4チームが参加しました。年々競技レベルが向上し、どの試合も白熱した戦いが繰り広げられました。

浜須賀地区青少年育成推進協議会

浜須賀地区青少年育成推進協議会（浜須賀推進協）は、小学校区に単位として青少年に関わる団体や地域の人々が中心になり組織されています。

私たち推進協は、現代社会において子どもたちが親や先生以外の大人と顔見知りになることが難しくなってきているのではと考えなどを通し、子どもたちと顔見知りになり、気にかけてくれている大人たちが他にもいるという安心感・信頼感をもってもらうことが子どもたちの健やかな成長、地域との繋がりに発展して行くと考えております。

地域の大人として子どもたちに積極的に関わることが、地域を担う次世代の人づくり、まちづくりに繋げていけると思い、子どもたちの安全、安心に関する支援活動をはじめ、豊かな体験・異世代交流の場づくりとしての活動、地域とのパイプ役としての活動など、年間を通して様々な事業を行っています。

その中で、これから行われる事業を少しご紹介します。

『子ども料理教室』　7月26日（火）
浜中家庭部と小学生が一緒に料理を作り、食べて、ゲームなどを行います。

子ども料理教室

『子ども大会・ビーチクリーン』　9月24日（土）
浜中ボランティアを募り、小学生と一緒に海まで歩き、ビーチ清掃のあと綺麗になった砂浜でスリッパ飛ばしなどのゲームを行います。

子ども大会・ビーチクリーン

緑が浜小学校区青少年育成推進協議会

緑が浜小学校区青少年育成推進協議会（緑が浜推進協）は浜須賀地区と松浪地区の二つの地区で構成されています。地域、学校と協力し合い、より良い子どもたちの育成のために活動しています。

今年度の緑が浜推進協の行事は、昨年度同様に、「みどりの子夏まつり」、「本物に触れよう講座」、「親子釣り大会」をメインに他団体と協力、参加を予定しています。それと共に青少年育成活動の推進の為の研修会、勉強会等も行いたいと思っています。

他団体と協力する行事としては「緑が浜小みどりっこ見守り隊」、「子どもを守る地域の会」等、今年度も積極的に参加協力して行きます。

今後の予定

みどりの子夏まつり
8月7日（日）

親子釣り大会
7月に父見台推進協と共催

本物に触れよう講座
内容、日時未定

写真は昨年度、「本物に触れよう講座」で、かおかおパンダさんと子どもたちと描いた作品です。

浜須賀小学校PTA

ここ数年、浜須賀小学校PTAでは、気軽に活動のお手伝いをしていただけるハマスカサポーターの制度作りや、広報紙「はまゆう」を活用したPTA活動の見える化などを行うことで、多くの方々が関心を持ち、参加していただけるPTAを目指して参りました。今まで様々な形でPTAに参加してくださった保護者の方々から、「やって良かった」「楽しかった」との感想を多くいただいております。

そして、今年度は、更に一歩進めたいという気持ちを込めて、活動方針を**「共に育ち、育てよう！」**としました。学校や地域との繋がりの中で、子どもも保護者も教職員の方々も、共に成長できる、そんなPTAにしたいと考えております。そして、子ども達が安心して楽しく学校生活を送ることができるように、校長先生をはじめ教頭先生、諸先生方、職員の方々、地域の皆様と協力し、子ども達を育んで参ります。今後とも皆さまのご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

主な活動予定　PTA総会（4月）・運動会支援（5月）・ジュニアライフセービング（7月）・親と子の工作教室（7月）・学校へ行こう週間支援（10月）・市P連スポーツデー参加（11月）・PTA委員会（年7回）・安全支援活動（4月、9月、1月）・広報紙「はまゆう」発行（年3回）・次年度役員選出（12月）・学年P活動、茶話会・スタッフ、サークルによる支援活動他

夏休み親と子の工作教室

ジュニアライフセービング

浜須賀中学校学級代表者会

浜須賀中学校学級代表者会は、PTA組織ではありませんが、学校と保護者が連携・協力して、浜須賀中学校の教育を進展させることを目的として活動しています。各学級から2名ずつ（特別支援級は1名）選出され、平成28年度は37名の学級代表者と職員8名（校長・教頭・教務主任・各学年主任・生徒指導担当）で構成されています。

年間5回の定例会を持ち、役員会・学年会・全体会を行っています。

主な活動内容は、次の通りです。

（1）体育祭での駐輪場の自転車整理と警備の手伝い（5月）
（2）合唱大会での受付、駐車場整理の手伝い、保護者・職員合唱の参加（10月）
（3）花の植え替え（年3回）と水やり（花ボランティア）
（4）リサイクルバザーの企画・運営（3月）
（5）学級・学年懇談会、茶話会などの企画・立案
（6）浜須賀会館まつりへの参加（おでん販売：10月）
（7）青少年育成推進協議会の役員（浜須賀・松浪・緑が浜）
（8）浜須賀会館管理運営委員会の委員
（9）浜須賀地区まちのちから協議会の委員
（10）子どもを守る地域の会の委員

浜須賀中学校

今年のキャッチフレーズ
「生徒が通いたい」
「保護者が通わせたい」
「教師が勤めたい」
「地域が応援したい」
学校を目指して

浜須賀中学校は現在、1年生224名、2年生208名、3年生240名、特別支援学級14名、全校生徒686名が在籍し、茅ヶ崎市13中学校の中で2番目に生徒数の多い学校です。明るく素直な生徒が多く、挨拶もよくでき、学習や部活動に熱心に取り組んでいます。「心身ともに健やかで、自らの生き方を求め、主体的に行動する生徒」の育成を目標に掲げ、教師が「チーム浜須賀」として全ての教育活動に組織的に取り組む体制をつくり、生徒一人一人を大切にした教育を目指します。

今年度の重点目標は昨年に引き続き、次のとおりです。

（1）校内研究の充実による、よりよい授業の創造
（2）一人ひとりの生徒を大切にする、生徒指導・特別支援教育の充実
（3）地域行事への積極的な参加と、生徒ボランティア活動の推進

昨年度、創立40周年を迎えましたので、今年は41年目の新たなスタートを切ったところです。「先輩が後輩の手本となる」「誰に対してもきちんと挨拶ができる」「積極的に地域ボランティアに参加する」等の伝統をしっかりと引き継ぎ、さらに素晴らしい学校に発展できるよう努力を続けてまいります。

浜須賀小学校

今年のキャッチフレーズ
「地域と協働した授業づくり」

浜須賀小学校は、本校の学校教育目標のもと、特別支援教育や心の教育の充実を通して子供たちの学びの質の向上を目指して平成28年度をスタートいたしました。また子供たちにとって安心・安全な教育環境の実現に向けてこれまで通り取り組みを開始しております。そして、学校全体が教職員・児童・保護者・地域による「共に学びあい、共に育ちあう学校」として稼働し、未来の浜須賀地域や茅ヶ崎市、ひいては日本や世界を創りだす子供たちを育成する場となるよう今後も邁進してまいりたいと思っております。

特に昨年度から、「共に学びあい、共に育ちあう学校」を目指して、地域に根付く授業づくりに力を入れております。浜須賀会館祭りに特別支援学級の子供たちやクラブの子供たちが参加する活動に加え、地域に多数存在するデイサービス施設の実地調査をもとに、お年寄りの方々について考えていく授業が3年生によって生み出されました。印象深いのは訪問した子供たちが、その日にサービスをうけるお年寄りの方々の事を考えに考え抜いて生み出した、プレゼントの歌や演奏を涙して喜んでいただけたという事です。また、5年生ではペットの学習が深まり、猫を守っていく活動の一環として地域で募金活動を実施し、10万円を超える寄付を愛護団体にすることができたのも、地域の方々のご協力なしにはできなかった教育的事実の一つです。平成28年度も地域を創る子供たちに必要な、地域に根差した授業づくりを、「アクティブ・ラーニング」「心の教育（人権教育）」をキーワードに取り組んで参ります。そして、子供たちだけではなく、教職員・保護者・地域の方々が共に学ぶ楽しさ、学ぶ喜びを再確認し、学び合う地域＝浜須賀を共に創造していってくれることを願っております。

今年度も、本校の教職員と地域・PTA・保護者の皆様が共に協働して、「大人」として目の前の子供たちの育成に、しっかり・じっくり・しなやかにかかわっていただきますよう、心よりお願い申し上げます。（栗原幸正校長）

花苗の植え替えボランティア活動

緑が浜小学校

今年のキャッチフレーズ すべては子どもたちの『心の笑顔』のために

一人一人の子どもの無限の可能性を引き出し、子どもたちの輝く瞳と心の笑顔があふれる学校にするために、あらゆる教育活動を通して、全教職員が一丸となって一人一人の子どものかけがえのない成長に向けて全力投球していくという決意を込めたものです。

子どもたちの輝く瞳と心の笑顔があふれる学校づくりを目指して

本校の教育理念は、建学以来、『人は人によりてのみ、人になる』としております。子どもたちは、人とのふれあいや関わりを通して、知恵をつけたり、考えたり、感じたりしながら様々なことを学んでいきます。次代を担う子どもたちを育んでいくために、義務教育9年間の中の小学校6年間における「学び」が、人間教育の基盤となることは言うまでもありません。それだけに、私たちに課せられた責任は重大です。毎年、6年生が本校を巣立っていくときに、一人一人が、自分の夢を堂々と語ることができる学校にしていきたいと思っています。

今年度は、『すべては子どもたちの心の笑顔のために』を教職員の合言葉といたしました。緑が浜小学校を、子どもたちも、私たち教職員も、保護者や地域の方々も、みんなが「私たちの学校」と心から言えるよう、6年間のあらゆる教育活動を通して、全教職員が一丸となって、一人一人の子どものかけがえのない成長に向けて全力投球していく所存です。その中で、「学習指導」と「学級・学年経営」を両輪として、学校経営を進めていきたいと考えておりますので、今年度も、本校の教育活動に温かなご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

（吉野利彦校長）

浜須賀会館管理運営委員会

浜須賀会館は茅ヶ崎市のコミュニティセンターの1号として開設されて33年目になります。

当館は、地域集会施設・老人憩の家・図書館分室からなる複合施設です。

地域の皆様に利用勝手が良いよう配慮されています。

指定管理者制度が平成17年度に導入されて、一期4年の3期目の最後の年となります。気を引き締めて会館一同業務に当たりたいと思います。

さて今年度も地域の皆さんの必要にこたえられる事業を組み立て、会館に気軽に足をお運びいただけるようにしたいと考えています。

体の心配に関しては茅ヶ崎市立病院の各科の部長先生にお越しいただき、病院では質問できないこともお聞きします。また、シニアエアロビックは60代から幅広い皆さんが月に2回インストラクターの指導の下、有酸素運動を音楽に合わせて行います。

その他、料理教室は地域のシェフに来ていただくなど、親しみやすく楽しい料理教室を目指しています。

音楽教室は東京芸術大学のOBさんに来ていただき本格的なオペラを楽しんでいただく予定にしています。

小学生、幼児にたいしては夏休みに映画会をいたします。

10月には会館のメインイベントである浜須賀会館まつりを行います。

お正月にはカルタ大会を計画しています。

今年も、2月には寒仕込みの味噌作り教室をいたします。このように年間を通して色々な事業を展開していますので回覧板をご確認の上ご参加ください。

浜須賀会館は5名以上のお仲間同士でメンバー登録をしていただければ、使用可能となります。

是非、お仲間との研鑽の場所として、また趣味の向上のため、また健康づくりのためご利用いただきたいと思います。

分からないことは何でも気軽にお電話してください。

図書コーナーの様子

防災部会

自然災害と隣人同士の助け合い

私達は自然があるから生きています。しかし、自然は恵みだけでなく過酷な災過を被ることもあります。日本は自然に恵まれた国ですが、災害多発国でもあります。

世界最大の海と世界最大の大陸の間にある国です。世界で発生する大地震の約20％がこの狭い日本周辺で発生し、世界の活火山の10％が日本に存在しています。寒流と暖流、偏西風と偏東風が交差し、台風は吹き寄せられ竜巻、豪雨、豪雪、土砂災害、水害、噴火に見舞われる国です。自然の災害や社会的災害には行政とともに、地域、隣人が支え合い助け合って困難を乗り越えてきた国です。

今、必要なのは自分や家族のための最小共同体です。住んで楽しい街、隣近所の人達と心が通い合う、向こう三軒両隣の人達、自分の事は自分で対応することが原則ですが、それでも困ったときはお互いさまで助け合い、支え合うことのできる隣人、死ぬまで住み続けたい街にするための隣人です。

ゆえに、隣人同士や向こう三軒両隣など、目の届く範囲の結びつきや顔のみえる近隣共同体が機能してこそ、結果として「自主防災認識」や「広域共同体」を支えることになるのです。

環境部会

「環境未来都市」をめざす取り組みの中でも、ゴミの処理は重要な課題の一つとなっています。近年、社会におけるゴミの増大に伴い焼却炉の能力不足、焼却による大気汚染や化石燃料消費の増大、処理コストの増大は大きな問題となっています。

環境問題、資源リサイクルと言った社会背景にマッチする生ゴミリサイクル処理を検討する必要があります。即ち可燃ゴミから生ゴミだけを分別し、コンポスト化し、可燃ゴミ焼却における燃料費削減に大きく貢献することになります。この様な考え方で具体的に成功している所が全国にあります。生ゴミをベースに効果のあるコンポスト堆肥が作られ生産者に評価されている地域もあります。尚、生ゴミをコンポスト化するには、それなりの環境が必要でありますので、茅ヶ崎市だけで実施を検討するのでなく、近くの市町村と協議する必要があるでしょう。

また、生ゴミを集める方法や生ゴミを各家庭から集める容器等も検討する必要あり、実際に実施している市町村へ出向いて、ヒアリングする必要もあるでしょう。

環境部会の様子

すこやか赤ちゃんサポート

今年もかわいい赤ちゃんが浜須賀会館大広間55畳に大集合しています。

絵本の開き読み・赤ちゃんとお母さんが触れ合う手遊び・お母さんたちのちょっとした制作タイム・保健師さんの大切なお話等が行われています。

少し躊躇してしまう方も大丈夫です。やさしい地域のおばさんが赤ちゃんの面倒をしばしでも受け止めます。是非、浜須賀会館に来てくださいね。

場所▼浜須賀会館大広間
【問い合わせ（87）1101】
日時▼毎月第3木曜日
9時30分～11時
※一緒に活動してくれるスタッフを募集しています。
―ご連絡お待ちしています―

編集後記

28年度初めの6号は全戸配布でのお届けです。浜須賀地区のそれぞれの団体の主な活動を団体ごとに、解りやすく掲載しました。地域の皆さんには、一人でも多く、それぞれの団体の活動に参加して頂きたく思います。

鉄砲道の自転車レーンも皆さんの声があったから実現しました。

浜須賀地区まちのちから協議会は皆さんが課題を出し合い、共有し行政と協働で問題解決を図ってまいりますので、皆様方のご協力とご理解を宜しくお願いします。

浜須賀地区まちのちから協議会　古谷、角田

特定事業評価表

事業名	広報「浜須賀まちのちから」発行事業
地区名	浜須賀地区

全体に関する評価や今後に向けたコメント等

協議会の運営状況等活動内容をいかに広報していくかは、協議会の民主性の担保の観点からも重要な要素であり、配布方法等について検討しながら、引き続き実施していただきたい。